

やまなしの福祉

2023 No.368

春

SPRING

- 〈P02〉 特集「災害時のささえあい」
 - ・山梨県災害福祉支援ネットワーク会議と山梨 DWAT
- 〈P05〉 災害ボランティアセンターの役割と活動
- 〈P06〉 いきいき山梨ねりんピック 2022
- 〈P07〉 ねりんピックかながわ 2022

- 〈P08〉 貸付制度のご案内
- 〈P09〉 【児童・ひとり親 / 介護・保育分野】
- 〈P10〉 県社協賛助会員のご紹介
- 〈P11〉 R4 年度 介護ロボット導入講座 開催報告
- 〈P12〉 善意をありがとう ほか



特集 Special feature

災害時の ささえあい





「災害時のささえあい」

Support each other in times of disaster

近年、全国各地で地震や大雨による自然災害が多発しており、甚大な被害が発生しています。令和4年9月の台風15号災害では、隣県の静岡県において河川の氾濫や土砂崩れによる家屋への被害、水道・電気といったライフラインの寸断などが起こりました。私たちの身近なところで、いつでも災害は起こりうるものであり、日頃から様々な事態を想定した備えが必要です。

そんななか被災地の支援にあたっては、行政等による救助活動や財政的支援だけでなく、長引く避難所生活や復興に向けた地域での暮らしを支えるための福祉的な支援が重要度を増しており、福祉分野の専門職や社協などが行う活動に大きな期待が寄せられています。

そこで今号では、災害時に福祉分野が担う支援の取り組みとして、山梨県や県社協並びに13の県内福祉関係団体の協働で今年度発足した「山梨県災害福祉支援ネットワーク会議」と、災害時に各市町村社協が中心となり開設する「災害ボランティアセンター」の2つの取り組みに着目し、特集します。

山梨県災害福祉支援ネットワーク会議の目的

近年の災害では、地震や津波、河川の氾濫などによる災害の直接的な被害は免れたものの、長期間の慣れない避難所生活からくる生活機能の低下や、体調の悪化による災害関連死などの2次被害が発生しており、要配慮者（高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児など災害時に特に配慮が必要な方々）に対する支援が課題となっています。

こうした災害時における2次被害を防ぎ、福祉的な側面から支援を行う仕組みづくりのため、県・県社協の他、県内の13の福祉関係団体の協働により今年度「山梨県災害福祉支援ネットワーク会議」を発足しました。

本会議では災害時の福祉専門職による支援チーム「山梨県災害派遣福祉チーム（通称：山梨DWAT（Disaster Welfare Assistance Team）」の結成に向け令和4年12月14日（水）に県・県社協と各福祉関係団体による「災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定」を締結しました。

山梨県災害福祉支援ネットワーク会議構成団体

福祉施設 関係団体	・山梨県社会福祉法人経営者協議会	福祉施設 関係団体	・一般社団法人山梨県社会福祉士会
	・山梨県知的障害者支援協会		・一般社団法人山梨県介護福祉士会
	・山梨県身体障害者施設協議会		・一般社団法人山梨県介護支援専門員協会
	・山梨県精神障がい者地域生活支援ネットワーク		・山梨県精神保健福祉士協会
	・山梨県老人福祉施設協議会		
	・山梨県老人保健施設協議会	その他 団体	・社会福祉法人山梨県社会福祉協議会
	・児童養護施設部会		・山梨県
	・山梨県保育協議会		
	・日本保育園協会山梨県支部		

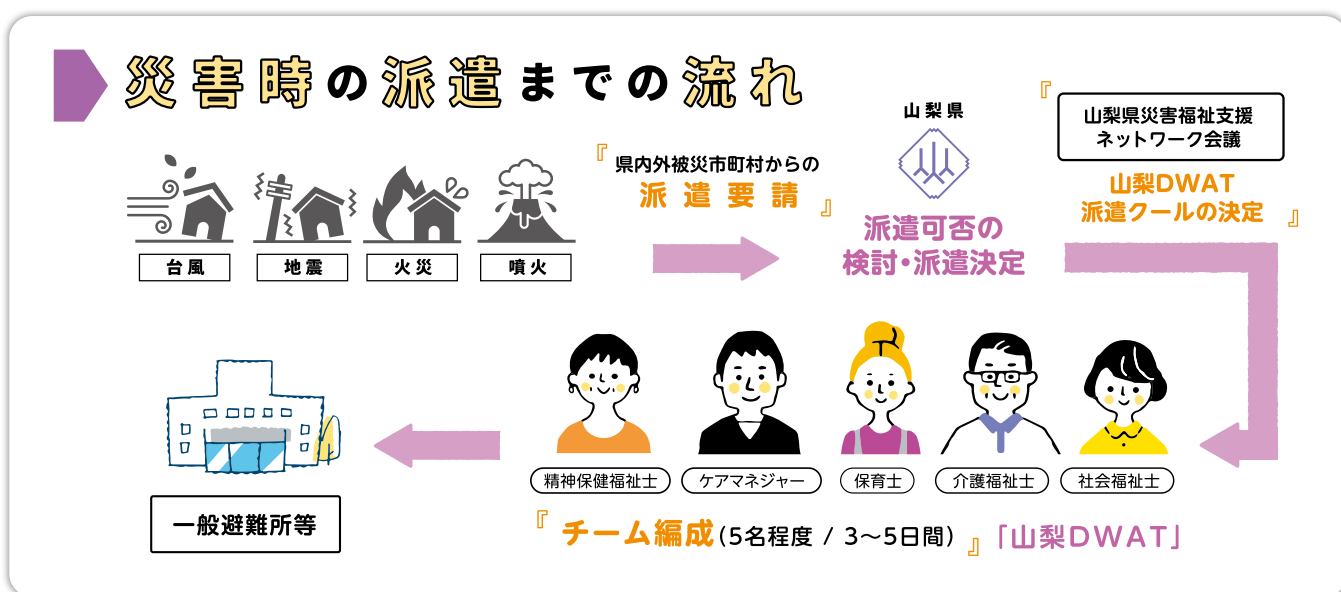
山梨県災害派遣福祉チーム(山梨DWAT)について

山梨DWATは、大規模災害発生時に一般避難所等において要配慮者の福祉の向上や2次被害の防止を図ることを目的とした福祉専門職チームです。

チームは、高齢福祉・障がい福祉・児童福祉など様々な分野の専門職で組成され、一般避難所等において要配慮者や福祉的支援ニーズについて把握し、福祉サービスの提供や福祉環境の整備など様々な福祉支援を行います。

山梨DWATの派遣については、大規模災害等により甚大な被害を受けた市町村より県が派遣要請を受け、派遣決定をしたのち山梨県災害福祉支援ネットワーク会議において山梨DWATを編成し、被災地の一般避難所等に派遣します。

山梨DWATは1チーム5名程度で編成され、おおよそ5日間を1クールとして他のチームと交代しながら支援を行います。



災害福祉支援ネットワーク会議・山梨DWATの今後の活動について

災害時の福祉支援体制の充実化に向け、まずは第1期山梨DWATを結成します。その後も継続して山梨DWATチーム員の増員を進めるための周知や説明会等を実施し、山梨DWATの体制強化を図ってまいります。

また、平時より訓練やスキルアップ研修等を重ね災害時の実践力向上を図るだけでなく、他県DWATとの情報交換等も実施しながら様々な事象に対応できるよう、災害福祉支援の仕組みづくりを進めてまいります。

山梨県災害福祉支援ネットワーク会議 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 山梨県甲府市北新1-2-12 福祉プラザ4階

☎055-254-8610 担当:福祉振興課

山梨県福祉保健部 福祉保健総務課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

☎055-223-1443

「災害ボランティアセンターの役割と活動」

Roles and Activities
of Disaster Relief
Volunteer Centers



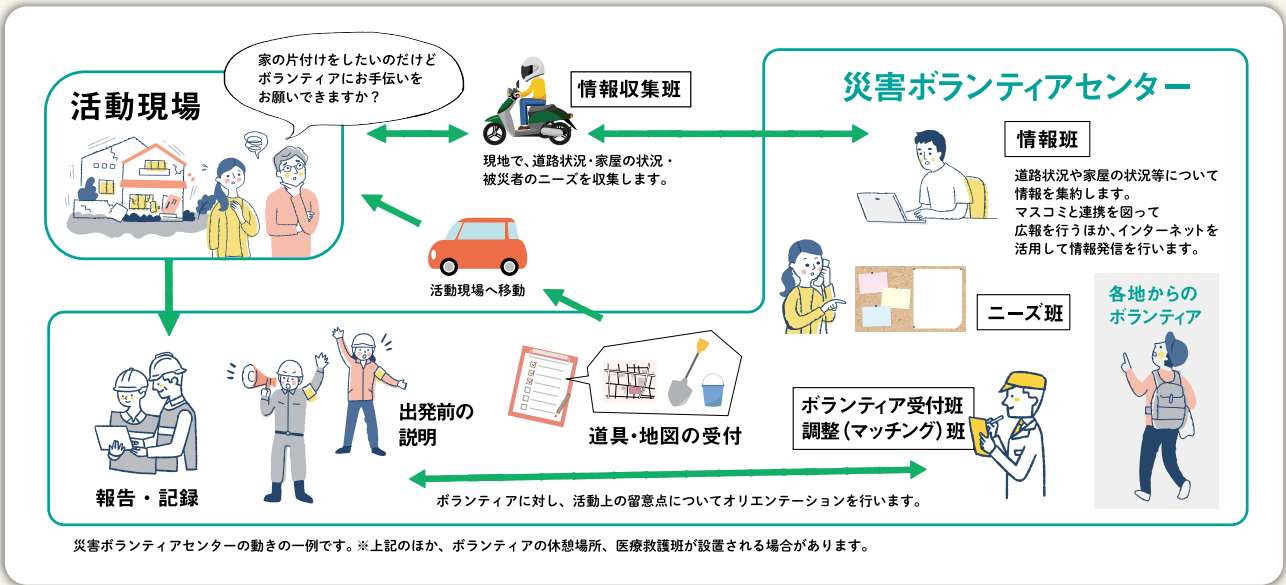
▼災害ボランティアセンターとは・・・

大規模災害が起きた際には、一般避難所等においてDWATによる避難生活の支援が行われる一方、日本全国から被災地や被災者の生活再建に向けた支援を行うために多くのボランティアが駆け付けます。このとき、市町村社会福祉協議会では「災害ボランティアセンター」を設置し、支援活動を円滑に進めるためにボランティアの活動調整を行います。

▼災害ボランティアセンターの役割

地域において大規模な災害が発生したとき、市町村社会福祉協議会では災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」という）を設置します。

災害VCでは、被災地域や被災者の困りごとを把握し、ボランティアを受け入れ、必要な資材を調達し生活再建に向けた支援活動へとつなげます。



▼県内外の社協相互支援体制

社会福祉協議会においては、大規模災害が発生した際に県内外の社協間での支え合いとして相互支援協定を締結し、災害時の支援体制づくりを進めています。

今年度も全国各地で災害が多発しており、9月には静岡県において発生した台風15号による広域災害の際に、山梨県内の社協職員を静岡市社協が開設している災害VCへ派遣し、運営支援にあたりました。

社会福祉協議会はこのように社協間で連携を図ることはもちろんのこと、地域福祉を推進する団体として日頃から地域住民やボランティア、様々な福祉関係団体等と連携し各種福祉事業を展開していきます。

静岡市災害ボランティアセンター派遣職員の声



葵区災害ボランティアセンターへの職員派遣



清水区災害ボランティアセンターへの職員派遣

Voice

第1
クール

山梨県社会福祉協議会 和田 豊

派遣期間中は、荒天により災害ボランティア活動が休止となる日が多く、西ヶ谷地区に開設したサテライトの体制づくりの業務を中心に担当しました。

被災地域の状況は、外見では片付けが終わっているように見えても、被災者のお宅を訪問すると、床下の土砂の撤去ができず困っているなど、復旧状況の把握と専門技術を必要とするニーズへの対応の難しさを改めて感じました。

また、今回の災害ボランティアセンターの運営では、ICTの活用が進んでおり、業務の効率化が図られていたほか、現場で対応が困難なボランティア募集の広報や登録・資機材の調達・技術系ボランティアの受け入れ調整などについて、県本部のバックアップ体制が整っていた点などが参考になりました。

今回の派遣経験を、本会が担う県災害救援ボランティア本部の運営や、支援体制の強化につなげていきたいと思えます。

Voice

第7
クール

中央市社会福祉協議会 薬袋 哲

被災から1ヶ月程度経過したこともあり、状況は少しずつ落ち着いてはきているものの、まだ潜在的なニーズがあるとみられ、一度確認した地域及び、まだニーズがありそうな地域への調査が主な業務でした。

被災者の気持ちに寄り添い、丁寧な聞き取りをすることを心掛け、床下の泥だし後の状況の確認、市で実施している制度の説明などを通して、ニーズの聞き取りをしました。

また、一人暮らしの高齢者の方については、福祉的なニーズの確認をしながら、対応をしました。

被災者の方々からお話を伺う中で、当時の状況の事や、道路を挟んで被災されている地域、被災されていない地域などがあり、被災者の方々の複雑な感情から、改めて災害の難しさを感じました。

5日間を通して、各地の社協から派遣された方々と連携し、皆が被災地の為に何ができるか考え、運営についても、できるだけ地元社協の負担にならないよう皆で心掛け取り組んでいた事が印象に残りました。

Voice

第11
クール南部町社会福祉協議会
瀧井 佐知子 仲亀 哲也
遠藤 良彦 仲澤 彰人
工藤 瑠美 佐野 網香

※6名を交代で派遣

私たち、南部町社会福祉協議会が取り組んだ内容は、静岡市葵区西ヶ谷に開設されているサテライトの規模縮小に向けての運営支援でした。

ニーズの再確認、雨天のため回収できなかった依頼者宅の廃材処分、規模縮小へ向けての資機材の整理、パソコンへの現地調査で得た情報の再入力と確認、ボランティアの皆さんと一緒にの被災者支援(主に床下の泥だし等)、清水区でのボランティア受け入れ体制の構築のレクチャーを受けました。

静岡市社協の職員の方々がより専門的に活動できるように、災害ボランティアセンターの運営支援は関東ブロックの応援社協に任されていましたが、実際にセンター運営を経験された方の行動や対応の機敏さに、見習うべき所が多いと感じました。

Voice

第13
クール

小菅村社会福祉協議会 青柳 慶一

台風被害から2か月以上が経過し、一見しただけでは被害状況はわからない「平穏な日常」というのが現地に着いた時の最初の感想でした。

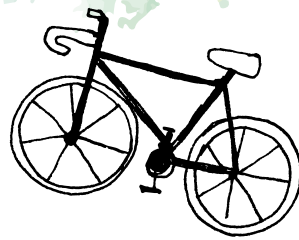
清水区災害ボランティアセンターは、翌週から週末のみの活動へと規模縮小することが予定されていたため、撤収作業と、ボランティア受入れを並行して実施している状況でした。

センターの運営は、各班の業務が細分化され組織的に活動しており、それを目の当たりにした時には、ゼロからここまで築き上げた地元社協、これまで携わられた関東ブロック応援社協の力強さと苦勞を感じました。

期間中には、被災された住居の家財撤去をする機会があり、床上浸水のあとや、砂のついた家具などを見せてもらい、2か月たった今も、まだまだ災害は終わっていないのだと実感しました。

「モノを片付けて終わり」ではなく、その先の被災者の生活再建まで伴走し、支援しつづける社協の存在意義の大きさを再認識した5日間となりました。





R e p

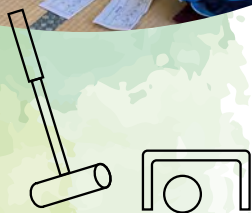
ねん ピッ 20

いきいき山梨 ねんりんピック2022

「いきいき山梨ねんりんピック2022」が
3年ぶりに開催されました。

この大会は、スポーツや趣味の交流大会をとおして、高齢者の健康や生きがい、仲間づくりを目的として、毎年9月に開催されていましたが、前回と前々回は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

3年ぶりの開催となった今回は、感染症拡大防止の観点から、競技種目ごとに時期を分散した開催で行いました。山梨県シニアゲートボール大会など9種目の競技を10月から11月にかけて開催し、それぞれの競技では、今までの練習の成果を十分に発揮した大会となりました。



nenrin-pics 2022



クイズウォーキング



シニアゲートボール



シルバーサッカー



シルバーボウリング



シルバー将棋



シルバー水泳



シルバー太極拳



ソフトバレーボール



ふれあいサイクリング

ねんりんピック!! 22

山梨県選手団

181名が参加しました!

ねんりんピックかながわ2022

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 ～未病改善でスマイル100歳～」をテーマに、第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)が令和4年11月12日(土)～15日(火)にかけて神奈川県内、各市町村を会場に開催され、山梨県からは、181名の選手が22種目の競技に参加し、熱戦を繰り広げました。

11月12日～15日

3年ぶりの開催となった今大会では、ソフトバレーボール大会でグループ優勝、サッカー大会でブロック優勝するなど各種目で大いに活躍するとともに、スポーツを通じて、他県の選手との交流を深めました。また、文化交流の美術展においても6部門12作品を出品し、優秀な成績を収めました。



総合開会式



サッカー



ソフトバレーボール



ソフトボール



ベタンク

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 山梨県勢の主な成績 /

優勝	ソフトバレーボール(第1位グループ優勝)	都留市 ルバン
優勝	サッカー(Bブロック 優勝)	山梨県グランドシニアサッカークラブ
準優勝	ソフトボール	南アルプスシニア
準優勝	軟式野球(第4ブロック 準優勝)	山梨オールズ
準優勝	水泳(85歳以上 平泳ぎ 男 50m 第2位)	梶原 勤(山梨市 89歳)
準優勝	水泳(85歳以上 平泳ぎ 男 25m 第2位)	梶原 勤(山梨市 89歳)
準優勝	水泳(85歳以上 自由形 男 50m 第2位)	松本 弘(山梨市 86歳)
準優勝	水泳(85歳以上 自由形 男 25m 第2位)	松本 弘(山梨市 86歳)
準優勝	水泳(80～84歳 自由形 男 50m 第2位)	水上 光生(山梨市 83歳)
準優勝	健康マージャン(個人戦 花火ブロック)	村松 厚(山梨市 78歳)
優秀賞	卓球(第2位グループ 優秀賞)	風林 火山
優秀賞	ベタンク	かいじ
優秀賞	バウンドテニス(団体ダブルス 優秀賞)	バウンディーコスモス
優秀賞	ダンススポーツ(スタンダードの部 (チャチャチャ) 優秀賞)	江波戸 勉(北杜市 61歳) 小林 小波(甲斐市 75歳)
優秀賞	グラウンド・ゴルフ(男性の部)	望月 守男(富士川町 82歳)
優秀賞	囲碁(個人戦 えのしまブロック)	田辺 敏明(甲斐市 80歳)
優秀賞	囲碁(個人戦 はこねブロック)	河西 富士雄(甲斐市 81歳)
特別賞	水泳(男性最高齢者賞)	梶原 勤(山梨市 89歳)
特別賞	バウンドテニス(女性最高齢者賞)	志村 芳子(都留市 85歳)
特別賞	テニス(男性高齢者賞)	鶴岡 孝蔵(忍野村 86歳)
特別賞	軟式野球(男性高齢者賞)	藤森 辰夫(北杜市 85歳)
●美術展		
川崎市長賞	日本画	松井 典子(甲府市 81歳)
銅賞	日本画	古谷 三七子(甲府市 79歳)
最高齢者賞	写真	小林 敬子(甲府市 84歳)

11月30日

山梨県庁にて帰県報告会を行い、大会に出場した選手の代表者や入賞者が出席しました。山梨県選手団を代表して、小澤副団長(山梨県社会福祉協議会常務理事)が渡邊副知事に県旗を返還し大会の成果を報告しました。小澤副団長は、「さらなる目標に向かって精進し、地域社会や長寿社会づくりに貢献したい」と抱負を述べました。

来年度の第35回全国健康福祉祭は愛媛県で開催予定です。

帰県報告会 山梨県庁にて



児童

single-parent and child

ひとり親

山梨県社会福祉協議会が行う

令和
5年度

貸付制度の

01 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

進学や就職などで山梨県内の児童養護施設等を退所または里親委託を解除した方に、支援資金の貸付けを行うことで、安定した生活と円滑な自立を支援します。条件を満たした場合、貸付金の返還を免除します。

貸付内容

種類	貸付対象			貸付期間	貸付額
	退所または委託解除から5年が経過するまで	進学者	就職者		
生活支援費	○	—	—	在学する期間	月額5万円以内
家賃支援費	○	○	—	進学者は在学する期間 就職者は退所または委託解除から2年間を限度とする	1カ月あたりの家賃相当額(管理費・共益費を含む) ※居住地の生活保護住宅扶助額を限度とする
資格取得支援費	○	○	○※1	一括交付	25万円以内 資格取得に要する費用の実費

※1 申請理由が自立支援計画上の位置付けであること

貸付申請は、それぞれ1回まで、児童養護施設等または児童相談所を経由して申請してください。貸付けは無利子です。

02 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

『高等職業訓練促進給付金』を活用して養成機関に在学し、資格取得を目指すひとり親家庭の親に対して、養成機関の入学準備金及び就職準備金の貸付けを行うとともに、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金を貸付け、自立の促進を図ることを目的としています。条件を満たした場合、貸付金の返還を免除します。

貸付内容

種類	種類	貸付期間	貸付額
入学準備金	高等職業訓練促進給付金を受給し養成機関に入学し現在、在学している方	一括交付	50万円以内
就職準備金	高等職業訓練促進給付金を受給し養成機関等を修了後、山梨県内において取得した資格が必要な業務に従事している方	一括交付	20万円以内
住宅支援資金	母子・父子自立支援プログラムの策定を受けて自立を目指しているひとり親家庭の親	2か月ごとの交付	月額40,000円以内(最大12か月まで)

お住まいの管轄の福祉事務所等を経由して申請してください。貸付けは無利子です。

貸付けには、審査があります。また、児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方、定期的に医療機関を受診している進学者への支援を拡充していますので、詳細は下記までお問合せください。

【お問合せ先】生活支援課 資金担当 TEL : 055-254-8610 (平日8時30分～17時15分)

ご案内

Loan Programs

山梨県福祉人材センターホームページ



URL <https://sites.google.com/view/y-fukushi-jinzai/>

介護

Care and Childcare

保育

介護・保育分野の就職を応援

介護（高齢者、障害児者）・保育分野の仕事に就かれる方を応援するため、就職や資格取得にかかる費用をサポートする各種貸付事業を行っています。一定の条件を満たすと、貸付金の全額が返還免除となります。これから、介護・保育分野に就職を考えている方は、是非ご活用ください。詳しい申請条件は、山梨県福祉人材センターホームページにてご確認ください。

介護（高齢者、障害児者）分野

介護福祉士実務者研修受講資金貸付

介護福祉士の資格取得を目指し、介護福祉士実務者養成施設に在学する方に受講資金等を無利子でお貸しします。

20万円以内
(1人1回限り)

介護人材再就職準備金貸付

介護職員として一定の知識や介護福祉士などの資格をお持ちで、福祉・介護の現場から離れている方が、福祉・介護分野への再就職をされる際に必要な資金を無利子でお貸しします。

40万円以内
(1人1回限り)

介護分野・障害福祉分野就職支援金貸付

介護分野又は障害者福祉分野以外の他業種で働いていた方が、介護職員初任者研修などの所定の研修を修了し、介護職員等として就職するときに必要な資金を無利子でお貸しします。

20万円以内
(1人1回限り)

介護職員を応援！
各種貸付金



保育分野

保育士就職準備金貸付

保育士資格を持ち、現在保育士または保育教諭として勤務していない方が、新たに保育士として山梨県内の保育所等に週20時間以上で勤務することが決定した場合、就職に必要な資金を無利子でお貸しします。

20万円以内
(1人1回限り)

未就学児の保育料等の一部貸付

①未就学児を持つ保育士が山梨県内の保育所等に新たに週20時間以上で勤務する場合、又は育児休業等から復帰する場合、保育料の一部をお貸しします。

保育料の半額
(最大1年間)
上限月額2万7千円

②未就学児を持つ保育士が山梨県内の保育所等を利用している、又は保育所等の勤務時間帯により、子ども預かり支援事業を利用する方に利用料金の一部をお貸しします。

保育料の半額
(最大2年間)
上限年額12万3千円

保育補助者雇上費貸付

保育士資格を持たない「保育補助者(保育士の補助を行う者)」の雇い上げに必要な費用の一部をお貸しします。

※貸付件数に限りがあるため、状況によりお貸し出来ない場合があります。

上限年額
295万3千円
(最大3年間)

保育士を応援！
各種貸付金



【お問合せ先】山梨県福祉人材センター 介護・保育貸付／研修担当

TEL: 055-254-9955

(平日8時30分～17時15分)

県社協賛助会員のご紹介



本会は「人と人が支えあい、認めあいながら、だれもがその人らしく地域で安心して生活できる、福祉文化の創造」を経営理念に、社会福祉に関わる皆様と協力をしながら地域福祉を推進するための事業に取り組んでいます。

賛助会員制度は、本会の理念にご賛同いただき、資金的な面から本会の活動をご支援いただくものです。

会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、引き続き温かいご支援をお願いいたします。

※50音順・敬称略

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ✦ アピオセレモニー株式会社 ✦ anlib株式会社 ✦ 株式会社 オーツヤ測量 ✦ 株式会社 オズプリンティング ✦ 神田温泉 ✦ 関東自動車共済協同組合山梨県支部 ✦ 株式会社 峡南堂印刷所 ✦ 株式会社 サンカイゴ ✦ 山日YBSグループ(株)アドブレン社) ✦ 山日YBSグループ(株)山梨日日新聞社) ✦ 山日YBSグループ(株)山梨放送) ✦ 山日YBSグループ(株)YBS T&L) ✦ 太平ビルサービス株式会社甲府支店 ✦ 鶴田電気株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> ✦ 東洋羽毛首都圏販売株式会社 ✦ 株式会社 トヨタレンタリース山梨 ✦ 税理士法人中山・久保嶋会計 ✦ 野村證券株式会社 ✦ ParuPi株式会社 ✦ 富士急行株式会社 ✦ 有限会社 平和プリント社 ✦ 株式会社 松下製作所 ✦ 株式会社 マルモ ✦ 山梨学院短期大学 ✦ 公益財団法人 山梨厚生会 ✦ 山梨信用金庫 ✦ 株式会社 山梨中央銀行 ✦ 株式会社 諒和 |
|---|--|

※令和5年2月1日現在の賛助会員46団体・個人5名のうち、掲載の承諾をいただいた28団体を掲載しています。

ソウェルクラブ

(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

新規会員 募集中!

\\ 会員数 約276,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の慶事のお祝い

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- 国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈
- 接遇講習会
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- コンプライアンス講習
- e-ラーニング
- 〔 Excel、Word、PowerPoint、コンプライアンス、メンタルヘルス 〕

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を経営する者
 - ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
 - ・加入対象者…上記事業に従事する役職員全員(非常勤職員含む)
- ※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
 - ・第2種会員(非常勤職員向け) … 毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、
フリーダイヤル **TEL 0120-292-711**
FAX 0120-292-722
<https://www.sowel.or.jp/>
社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング



国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

ソウェルクラブ “クラブオフ”

「介護ロボット導入講座」

令和4年11月18日(金)開催

県内の介護事業所・施設において介護ロボットの導入の促進を図るため、「介護ロボット導入講座」を開催しました。講師には山梨県立大学人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 准教授 伊藤健次先生と株式会社くますま 代表取締役・理学療法士 河添竜志郎先生をお迎えし、ご指導いただきました。

学び
1



こんな内容を学びました



学び
2



介護現場へのロボット導入が要請されている背景や、導入を推進する国の取組、山梨県内の介護現場の現状について伊藤先生からお話いただきました。

介護ロボットを導入・活用するメリット、デメリットを理解し、導入したが活用されていないということがないよう、効果的に使用するための手順や留意すべき事項について、河添先生からお話いただいた後、グループに分かれて事例検討を行いました。

体験
1

介護用リフトの体験



実際にベットから車いすへの移乗の体験を行いました。ベッドから車椅子へ、車椅子から浴槽へ移動の際に使用することで、介護者の腰痛予防や事故のリスクを減らします。

介護ロボットの展示・体験



見守りシステムの体験

天井に設置された行動分析センサーが、要介護者の関節点を検出し、分析することで行動を認識し、離床や転倒の際は介護者のスマートフォンに映像で通知します。訪室回数の軽減や危険の察知ができ、介護負担を軽減します。また、センサーにより、要介護者の居室内での移動軌跡から、行動習慣や身体機能の変化点を知ることができます。このデータをもとに日常生活動作の把握や身体の状態に応じたケアの見直しを行うことで、要介護者の自立を支援できます。

体験
2

受講者の声

voice.1

施設の中で職員の腰痛は悩みの一つになっています。職員も高齢になっているので、リフトなども考えていかなければとは思っています。また機会があれば研修に参加して学びたいと思います。



voice.2

介護ロボットの体験ができてよかったです。



お知らせ

「山梨県立介護実習普及センター」は令和5年3月31日をもって廃止となります。4月1日からは「介護福祉総合支援センター」として開設します。

ご利用している福祉サービスについて

「こうしてほしい」と思っていないか？

「なおしてほしい」と望んでいませんか？

山梨県福祉サービス運営適正化委員会が
疑問・要望などのご相談に応じます。

山梨県福祉サービス運営適正化委員会

住所 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ4階
受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分
電話 055-220-3030

NEWS

善意をありがとう Thank you for your good will.

(株)ツルハホールディングス クラシエホールディングス(株)

車いすの寄贈

(株)ツルハホールディングス(本社 北海道、代表取締役社長 執行役員 鶴羽 順)様、並びにクラシエホールディングス(株)(本社:東京都 代表取締役社長執行役員 岩倉昌弘)様より、車いす5台を県内3カ所の社会福祉法人へ寄贈いただきました。

ツルハグループ店舗で共同してキャンペーンを行い、その売り上げの一部で車いすを購入し、各県の社会福祉法人に寄贈いただいています。本県では、今回で11回目となり、寄贈台数は合計で100台となりました。ありがとうございました。



山梨県労働者福祉協会、 日本労働組合総連合会・山梨県連合会 山梨ともしび基金へのご寄付

「山梨ともしび基金」に対し、山梨県労働者福祉協会、日本労働組合総連合会・山梨県連合会(連合山梨)(会長 窪田清)様より、それぞれ10万円のご寄附をいただきました。

山梨労働者福祉協会様は、昭和62年から36回目、連合山梨様は平成8年から27回目のご寄付となります。いただいたご寄付は民間福祉活動の助成を行う「山梨ともしび基金」で大切に活用させていただきます。ありがとうございます。



(右)山梨県労働者福祉協会・連合山梨会長 窪田清様
(左)山梨県社会福祉協議会 常務理事 小澤 祐樹

アフラック県アソシエイツ会 甲府市民生福祉会に寄付

アフラック生命保険の県内51代理店で作る「アフラック県アソシエイツ会」(塩沢欣也会長)は、甲府市民生福祉会に計20万円を寄付しました。アフラックは昨年、介護保険に関する商品販売を始めたことを機に、介護保険事業者を支援する寄付を全国で実施。県内では県社会福祉協議会の選定のもと、特別養護老人ホームなどを運営する市民生福祉会への寄付を決めました。贈呈式では、塩沢会長が市民生福祉会の戸田知理事長に目録を手渡しました。



(中央右)アフラック県アソシエイツ会会長 塩沢 欣也様
(中央左)甲府市民生福祉会理事長 戸田 知様

一般社団法人 生命保険協会山梨県協会

福祉巡回車等の寄贈

一般社団法人生命保険協会山梨県協会(坂井 賢一郎会長)様より、福祉巡回車1台を甲州市社会福祉協議会へ、車いす用体重計を社会福祉法人ぎんが福祉会へ、非常用備蓄食料を社会福祉法人壽光会へそれぞれ寄贈いただきました。

生命保険協会山梨県協会は、CR(コミュニティ・リレーションズ)活動として、平成4年度より会員各社で「ふれあい募金」を実施し、集められた浄財を原資にして、寄贈いただいております。

福祉巡回車の寄贈は、31年連続53回目、車いす用体重計は10台目、非常用備蓄食料は2年連続となります。ありがとうございました。



福祉巡回車
(左)生命保険協会山梨県協会CR担当副会長 田上 武雄
(右)甲州市社会福祉協議会 事務局長 橋爪 孝裕様



車いす用体重計
(左)生命保険協会山梨県協会CR担当副会長 田上 武雄
(右)社会福祉法人ぎんが福祉会 施設長 内藤 和恵様



非常用備蓄食料
(左)生命保険協会山梨県協会CR担当副会長 田上 武雄
(右)社会福祉法人壽光会 施設長 武藤 岳人様

富国生命甲府支社外野倶楽部

タオル、使用済み切手の寄贈

富国生命甲府支社外野倶楽部(日原喜代美会長)営業職の皆様の善意の込められたタオル、使用済み切手を寄贈いただきました。

社会貢献の一環として寄贈いただいたタオル等は、県内の社会福祉協議会の高齢者向け福祉サービス等において有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



(右)富国生命甲府支社 外野倶楽部会長 日原 喜代美様
(左)山梨県社会福祉協議会 常務理事 小澤 祐樹



読者アンケートのお願い

今後の広報誌づくりの参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。

QRコードよりご回答ください。



広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版をご覧ください。バックナンバーの閲覧もできますので、ぜひご活用ください。

<http://www.y-fukushi.or.jp>

ここから
チェック!!



お知らせ Notice

今年度より、やまなしの福祉は年4回の発行とさせていただきます。次号は6月末発行予定です。

この広報誌の作成費用の一部に
赤い羽根共同募金配分金を充てています。

